

令和4年度第1回 栗橋公民館運営審議会議事録

【日時】・・・5月26日(木)10時～11時30分

【場所】・・・橋野ふれあいセンター会議室

【出席者】・・・審議会委員(6名出席)

遠野健一委員長、川崎悦三郎副委員長、八木澤江利子委員、川崎通委員
八幡裕子委員、遠藤朱実委員(欠席委員1名：八幡和郎委員)

事務局(4人出席)

市民生活部まちづくり課：佐々木薫主幹、浦城主任

栗橋公民館：二本松由美子館長、三浦主査

【傍聴者】・・・なし

【内容】①二本松館長による開会宣言
②まちづくり課佐々木主幹あいさつ
③遠野委員長あいさつ
④各委員及び事務局の紹介
⑤協議

【結果】事務局から令和4年度運営方針及び令和4年度事業計画について説明し、各世代を中心とした事業計画について、忌憚のない意見が出された。

公民館は地域のニーズに応じた特性を活かした学習機会や活動機会を提供し、その学びを通じて、生きがいつくり、健康づくり、仲間づくりなどが地域に広がるよう、また、地域の伝統文化、自然及び人とのふれあいを大切にしながら、「心豊かな人づくり」・「心ふれあう人づくり」・「心ふれあう古里づくり」を目指し各種事業を実施することとし事務局案は承認された。

※資料は別紙のとおり。

【協議内容】

「議長」事務局から説明のあった事業計画について、1番の乳幼児期を中心とした事業から順に、ご審議をお願いいたします。

1番の乳幼児期について、ご意見はありませんか。これでよろしいですね。

次に2番の学齢期を中心とした事業についてはいかがですか。どんぐり苗の植樹については、校長先生、ご意見をお願いいたします。

「委員」 今月8日本校の父親部の皆様のご協力をいただき、植樹する場所の下草刈りをしていただき、森林愛護少年団の総会を明日行うこととし、準備万端でしたが、明日の天候の関係から来週月曜日に延期することを決定いた

しました。

水生生物調査については聞いておりませんでした。そば打ち体験については、DVDで観ており、子ども達は楽しみにしておりますので、コロナの状況が許せば実施したいし、良い事業を組んでいただいていると思っております。

「委員」 水生生物調査はかなり長くやっていますね。

「事務局」 今は生活環境課ですが、以前、環境課で担当をしており、市内の学校で水生生物調査を行っていました。今の子ども達はなかなか川に入るという経験ができないので、楽しみながら自分達の住んでいる地域がどの位きれいなのかを知る良い機会になっています。

「事務局」 日程につきましては、生活環境課の担当の方からご相談すると思っております。よろしくお願いたします。

「議長」 それでは、成人期を中心とした事業について、ご意見を願いたします。映画鑑賞会ですが、基幹集落センターでは暗幕はないのですが、必要ありませんか。

「事務局」 観るものによりますが、普通のDVDであれば必要ありません。

「議長」 題材を選ぶのが大変ですね。

「事務局」 皆さんのご要望に沿ったものを選択したいと考えています。

「議長」 会場までの足の問題もありますね。成人期を中心とか高齢期を中心とかとありますが、ここの地区は高齢者しかいないので、そこを考えて下さい。

「事務局」 題材と交通手段の両方について考えます。

「委員」 昔は16mmの講習会もありましたが、16mmを使うのか。

「事務局」 16mmも無いことは無いが、種類のにはDVDの方が多いです。

「委員」 どんなジャンルがあるのか。

「事務局」 図書館には著作権フリーの物があるので、そちらを借用するということになるかと思えます。

「委員」 BSでも結構古い映画をやっている。

「事務局」 映画を観るだけではなく、地域の方々が集まる場所の提供としても考えている。

「事務局」 校長先生にお伺いしたいのですが、栗林小学校PTA女性部の実用小物製作については現在やっていますか。

「委員」 それについては、把握していないが現在は廃油で石鹸づくりをしている。

「議長」 小物製作は学習発表会の時に作品を展示していたがその取り組みだったと覚えている。

「事務局」 わかりました。何かそのような取り組みがあったら教えていただきたいです。

「議長」 男の料理教室はとても良い事業なんです。はっきり言って、栗林の場合は人

を集めるのに苦労しました。去年は出来なかったですが、高齢の女性の方に手伝ってもらい実施しました。

「事務局」 これは、どなたかが講師になってましたか。

「議長」 食生活改善推進員さんとか保健師さんも来ていました。食材はそれぞれが分担して持ち寄りました。一人になった場合、最低限ご飯と味噌汁を作れるようになれば良いです。これは平日ですか。土日ですと、それぞれ用事がありますし。平日が良いと思います。

「事務局」 わかりました。

「議長」 次に、高齢期を中心とした事業について、お気づきになった点はありませんか。

「議長」 干し柿作りは新しい取り組みですよ。

「事務局」 はい。

「委員」 干し柿づくりは、この辺ではみんなやっていることなんですよ。昔からの作り方ではなく、何か新しい作り方なのですか。

「事務局」 新しい作り方ではありません。昨年度、センターで近くのお母さん方とセンターに集まって干し柿づくりをしたと伺ったので良いと思いました。では、新しい取り組みとして、市職員でパンづくりを教えてくださいの方がおりますが、パンづくり教室をやるとすれば、人は集まると思いますか。

「委員」 どうでしょうね。高齢期だからね。

「委員」 私の子供が保育園だった頃、今から30年も前なので、若いお母さん方はたくさんいたので、今はどうでしょうね。年代的に、子どもさんもないし。保育園があった頃には、若いお母さん方がいてパンづくり、おやつ作りを公民館でやっていたんですが、今はどうかな。

「議長」 干し柿づくりは私達のグループで柿取りをして、干し柿をつくりということをやっていましたが、去年は止めました。みんなでワイワイやるのは楽しいですよ。ただ、吊るしたり、取り込んで寝かせておくことになると、一人か二人が専門でやらなくてはならなくなって、もうやめました。干し柿は委員さんがおっしゃったとおり、みんなやっているんですよ。干し柿づくりはすごく良い事業なのですが、何かもっと簡単に高齢者ができるものがあればその方が良いのではないですか。

「委員」 もし、柿関係だとしたら、出来るか出来ないか分からないし、高齢者が出来るかどうか分かりませんが、柿の葉のお茶とか柿酢とか、柿しぶって良いですよ。

「事務局」 委員さんに教えてもらいながら、出来るものはありますか。

「委員」 私の家の柿は、取りに来た方にあげている状態です。だけど、あるのでいつかは何かをやりたいなと思っているのが、柿酢と柿しぶです。これは地域で捨

てているだけなので、それを使って皆で柿しぶを作ったり、それを使って塗り物にも出来るし、籠もできるし、いろいろな物が出来るんですよ。その先生もいますし。買うと高いんですよ。1年では出来ないのですが、柿の作業として1年目はこれをやりました。2年目はこれをやりました。3年目で柿の酢が出来ましたというのも面白いかなと。ぱっとはできませんが、長い目で見て、たくさんある柿の木を利用する手はないかなと思います。

作ったことはないのですが、ネットで見てるとあります。

「事務局」 何かを作って作品を残すとか、何かを残すというのが目的ではなくですね。

「委員」 皆が集まってワイワイ話し合いながら、柿酢というのはどういうふうにするのかとか、栗橋の柿を活用する会とかというのをやって、何人かでみんなで1つ作って、「こういうのが出来たね。」とみんなで分ければ良いと思います。何か橋野からの発信ができれば良いですね。干し柿だと、傷ができれば駄目なので、丁寧に取らないと駄目というのがありますね。1回じゃなくて、長い目で見ないと駄目ですね。柿の葉っぱは糖尿病にも良いんですよ。栗林に誰かいませんでしたか。自分で、柿の葉とかドクダミで作っている方が。

「事務局」 柿の葉の新芽だったらもう取っていないと駄目ですか。

「委員」 あまり固いのは駄目です。誰か栗林にいたはずですよ。

「議長」 高齢期の方が簡単に作れてというのが良いのですが。今ここで結論はできませんが、柿の話は成人期、考えつく何かは高齢期というふうにやりますか。

「委員」 たくさん野菜を収穫したときに、たくさん野菜を食べるための、「無限シリーズ」とかありますね。そのようなものと高齢者もやりやすいのではないかなと。人参しりしりとか、今はやっていますね。料理教室もいいですが、健康教室のような企画で、お料理教室で栄養士さんがきてくれて、我が家で食べきれない野菜でもこうすれば、たくさん食べられるとか。栄養士さんが来てくれて、指導してくれるのもいいですね。「無限シリーズ」が流行っているんです。お料理教室で何品も作るのも良いですが、1品でこれだけ覚えるのも良いです。

「議長」 集まってワイワイガヤガヤが一番の目的だと思います。検討して行きましょう。

「事務局」 分かりました。

「議長」 次にスマホ教室も考えてもらっていますね。

「委員」 いろいろな機種いろいろなメーカーでも大丈夫ですか。

「事務局」 基本的な操作なのでアンドロイドでもアイホンでも大丈夫だと思います。

「議長」 新規の事業ですね。学校の状況はどうか。

「委員」 一人1台タブレットですね。机の脇に置いて、一斉の課題があると、教科書にQRコードがあり、それを翳すと計算練習もできます。

「委員」 学校からのアンケート調査もQRコードで自分のパスワードを入力すると

かですね。

「事務局」 KDDIの方はプロの方なので、ご要望に応じた対応になると思いますので、本当に初歩の初歩を教えてくださいと言えば初歩の初歩ですし、QRコードの読み取りを教えてくださいというのであれば、そこも講座の中に組み込んでいくと思います。

「委員」 QRコードは本当に基本の基本ですからね。

「事務局」 本当に基本の基本なのですが、今から新たにスマホを考えているという方のために考えています。

「議長」 皆さん、参加しますか。

「委員」 しますよ。

「委員」 今からやろうかなって感じのものなら、私は参加しないかな。

「議長」 場所は1カ所ですか。

「事務局」 まだ未定ですが、皆様の反応をみながら決めたいと思いますが、栗林と橋野の2カ所で行った方が良いと考えてます。

「議長」 他に何かありませんか。

「委員」 地域発見学習会は去年は中止だったようですが、実施するとなった場合は土曜日とかでしょうか。

「事務局」 おそらく、土曜日か日曜日だと思います。

「事務局」 5,6年前にやった時は保護者の方も参加してましたので休日だと思います。

「委員」 令和元年の話しでは11月は寒いという話しでしたが、10月が学習発表会を下旬に設定してましたし、11月に郷土芸能の発表の場を半ばに行いたいと考えてますので、時期は学校の方と相談していただいとと考えています。

「事務局」 分かりました。

「議長」 他に何かございませんか。

「まち課」 チラシでお配りしましたが、市と立正大学とで「立正大学デリバリーカレッジ」の講座を実施します。オンラインでの開催となりますが、市では中妻地区生活応援センターにモニターを準備して6月4日から3回に分けて実施します。1講座のみでも可能ですが、3講座すべて受講すると立正大学から終了証が渡されるので興味のある方は是非参加してください。

「議長」 他に何かございませんか。

何も無いようですので、以上をもちまして令和4年度第1回釜石市栗橋公民館運営審議会を終了します。